
北海道浮魚ニュース

平成 14(2002)年度 7 号(通巻 No. 127)

2002 年 7 月 8 日

北海道立水産試験場

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間：2002 年 6 月 25 日～7 月 4 日

調査海域および調査点：道東～三陸沖太平洋(北緯 41 度 00 分～38 度 30 分、東経 143 度 00 分～148 度 20 分)における 6 調査点(図 1)

調査方法：9 種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った 6 調査点の表面水温は 13.2～17.1℃、100m 層水温は 1.5～10.9℃でした(表 1)。

漁獲試験の結果は表 1 のとおりで、流し網調査 1 回当たりの漁獲尾数(C P U E)の経年変化は図 2 のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は、1 調査点で 12 尾漁獲されました。ゴマサバが主体のようでした。C P U E は 2.0 尾/回で、前年の 2.6 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。魚体は体長 14～20cm 台でした。

マイワシは、4 調査点で 1～7 尾、合計 15 尾漁獲されました。C P U E は 2.5 尾/回で、前年の 6.9 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。魚体は体長 14～16cm 台でした。

カタクチイワシは、6 調査点で 360～14,560 尾、合計 23,922 尾漁獲されました。C P U E は 3987.0 尾/回で、前年の 723.1 尾/回を上回り、近年の中では最も高い水準でした。魚体は体長 11～13cm 台が主体でした。

サンマは、6 調査点で 2～110 尾、合計 174 尾漁獲されました。C P U E は 29.0 尾/回で、前年の 27.1 尾/回とほぼ同じで、近年の中では中程の水準でした。

スルメイカは、4 調査点で 1～26 尾、合計 43 尾漁獲されました。C P U E は 7.2 尾/回で、前年の 10.3 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

アカイカは、4 調査点で 1～2 尾、合計 5 尾漁獲されました。C P U E は 0.8 尾/回で前年の 6.7 尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

来る 7 月 16～18 日に、中央水産研究所黒潮研究部(高知市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責：釧路水試 資源管理部、直通電話：0154-23-6222、FAX：0154-23-6225)

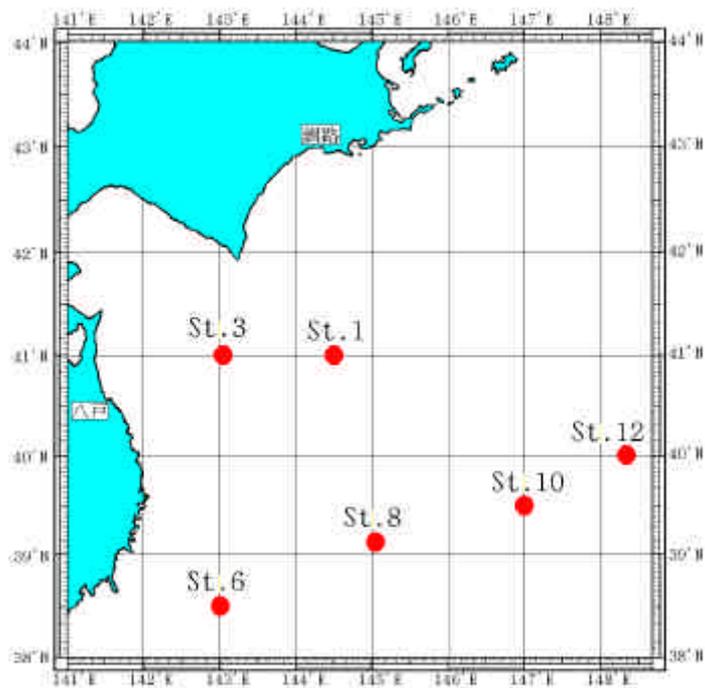


図1 漁獲試験調査点

表1 表面水温および魚種別採集尾数

ST.	1	3	6	8	10	12	合計
表面水温	13.2	17.1	15.9	15.8	13.5	16.8	
100m水温	7.7	9.2	1.6	1.5	1.8	10.9	
サバ類						12	12
マイワシ	1	7	6	1			15
カタクチワシ	4,504	14,560	1,208	533	360	2,757	23,922
サンマ	3	18	3	38	2	110	174
スルメイカ	1			4	26	12	43
アカイカ	2	1	1			1	5

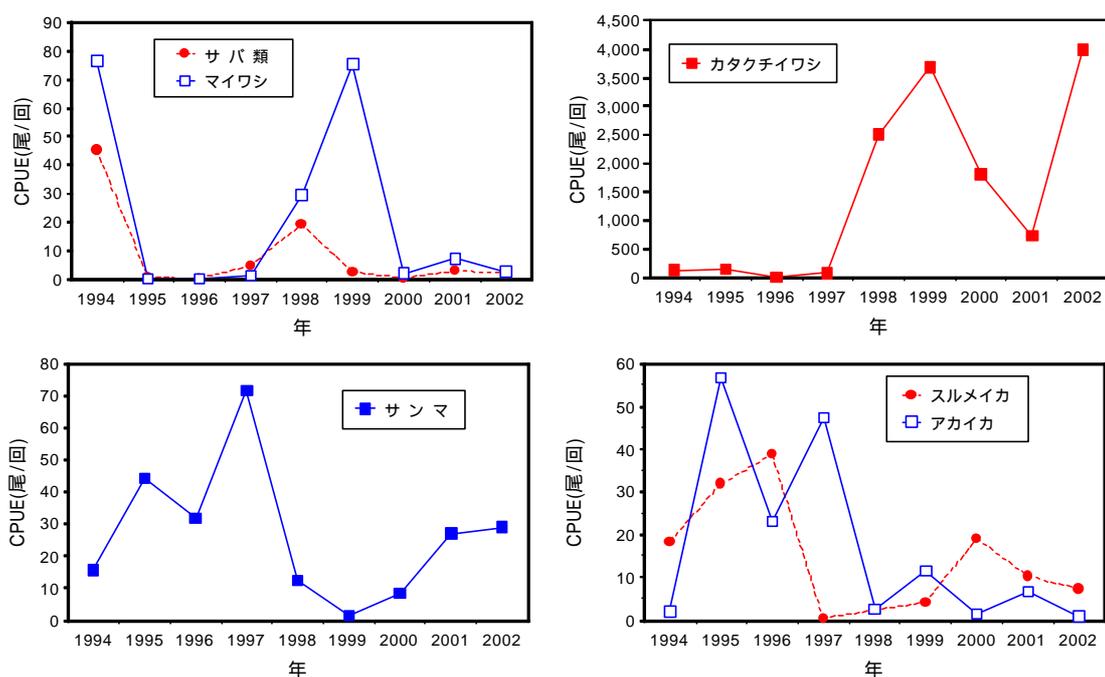


図2 流し網調査1回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化